

教会委員会	9 日 (日)
信徒の会	16 日 (日)
子どもミサ	23 日 (日)



中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北 1 丁目 9-1
Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

2014 年 2 月 2 日

Christian Martyrs Of Nagasaki (17 Century; Japanese artist, unknown)

2 月 5 日、日本二十六聖人殉教者について

主任司祭 小林 陽一

1549 年 (天文 18 年)、聖フランシスコ・ザベリオが日本に来られ、キリストの福音の種を蒔いていきました。当時、為政者のキリスト教に対する批判はきびしかったのですが、キリストの教えは大名や武士に認められ、伝えられて、少しずつ広がっていきました。しかし、それから 38 年後、当時の教会に対する迫害は教会を根底からゆるがし始めました。1587 年、太閤秀吉は宣教師追放令を出して、宣教を禁じたからです。

しかし、こうしたことがあっても、信者の信仰心は弱まることはありませんでした。様々な宗教の人がキリスト教に入り、その人数は多くなりました。秀吉は見せしめのため、京都や大阪の信徒や司祭 26 人を捕らえて、耳を切って血を流させ、その人たちを牛車に乗せて町中を引き回しました。その上で、26 人を長崎まで歩かせ、長崎の地で全員を十字架につけて、役人たちに槍で殺させました。これが 26 聖人殉教者が殺されるに至った概要です。

秀吉のキリスト信者に対する態度はその時々でよく変わり、ある神父に宣教の許可を与え、その後キリスト信者が増加すると迫害を加えました。

1596 年 (慶長元年) 12 月、秀吉は京都奉行の石田三成と大阪奉行の小出秀政に命令を出し、キリスト信者を逮捕させるに至りました。その数は 24 人でした。後に長崎への道中で 2 人が加えられ 26 人となりました。

日本 26 聖人殉教者のひとり、医師のフランシスコは、かつて親しかったイエズス会の修道士を訪ねようと京都を探しまわっていたとき、フランシスコ会の会員に出会いました。案内されるまま京都のフランシスコ会の修道院を訪ね、その修道院の雰囲気魅せられ、また聖フランシスコの伝記を読んでフランシスコ会を理解するようになりました。フランシスコ会会員の祈り、償いの業、お互いの心温まる交わりと友情を基とした愛徳の精神を実際に知ってから、自分も彼らに倣おうと決心しました。リバデネイラ神父から要理を学び、聖フランシスコの洗礼名をいただいて洗礼を受けました。妻と二人の息子も受洗し、息子たちは医師となり、フランシスコは京都の聖ヨゼフ病院で貧しい人々の足を洗い、治療に当たりました。そうしたフランシスコの姿を見ていた周囲の人々は、深く心を打たれました。



1597 年 2 月 4 日、雪のちらつく冬のさ中、26 人は 800 キロの旅を終えて時津というところに着きましたが、そのまま長崎に向かい、2 月 5 日に浦上に到着しました。京都を出発してから 1 ヶ月以上経っており、西坂の処刑場には 26 本の十字架が半円形に並べられており、役人たちは西坂に連行された 26 人を荒縄で縛り上げ、鉄の輪をもって十字架にはりつけにしました。はりつけにされたイエズス会のパウロ三木神父は「みなさん、私はあなた方と同じ日本人です。私が十字架につけられたのは、ただキリストの教えを宣べ伝えたからにはかなりません。救霊を得たいならば神を信じ、そのみ教えを守らねばなりません。私たちは無罪でありながら殺されますが、決して誰も恨みません」と人々に説教し、25 人と共にその清い魂を神のみ手に帰しました。

日本 26 聖人殉教者は、1862 年 6 月 8 日、ピオ九世教皇によって列聖され、全世界の尊敬の的になりました。日本 26 聖人殉教者は教会が教えたイエス・キリストの十字架上の受難と死の苦しみをそのまま体験し、証しいしました。最後まで神により頼み、自分の力ではなく、神の導きと聖霊の働きを信じて一生を神に捧げました。

日本 26 聖人殉教者のあり方を私たちのあり方として、一つでも取り入れたいものです。



華ちゃん（11歳）、蘭ちゃん（6歳）、葵ちゃん（2歳）三人のお母さんであり綾瀬市の保健師さんでもある本庄順子さん（42歳）にお話を伺いました。

▲武田さん一家の長女として弟さん三人とどんな風に育てられたのですか？

一私たち兄弟は保育園も幼稚園も行っていないので近所の人や親せきの人、従妹や弟たちの中で一緒に育ってきた感じがします。父は小学生の頃までは厳しく、げんこつされたり茶碗が飛んでくることもありましたが、私を「長女だから一番神様に祝福されているのだよ」と常々言われ深い愛情を感じていたので、責任感を持って兄弟の面倒を見ることができたのだと思います。

▲子供の頃、教会ってどんなところでしたか？

一幼い頃教会は遊ぶところ、学校で分からないところを教えてもらえる楽しいところでした。

よく原宿教会へも連れて行ってもらいました。シスターたちはいつも優しくお菓子やジュースがもらえたことも楽しい思い出です。中学生の頃は二俣川教会の子供たちと合流して合宿がありそれが何よりも楽しかったです。

▲青年期になって将来や信仰についての悩みはありませんでしたか？

一確かにしばらく教会へ行けないこともありましたが、両親は静かに見守ってくれていて強要されることはなかったので信仰に対して特に反発する気持ちはありませんでした。父の「辛い時や嫌な人のためにも祈るのだよ」とか「（神に恥ずかしいことがなければ）人の目は気にするな」という強い信仰に基づいた姿勢に勇気づけられてきたと思います。高校生になって横浜教区のカトリック学生連盟（学連）の活動に参加するようになり色々な人との出会いがありました。その出会いの中で仲間たちと心を割って話し合える場を持てたので一人で悶々とするのがなかったのは幸せだったと思います。

▲保健師さんとして、ベテランママさんとして若いお母さん方に一言お願いします。

一結果をあせらず「いいよ、そのままで、そんな時もあるよ」とゆったりと構えていてください。人は人の中でしか育たないので、できるだけ多くの人と出会い、おじいちゃん、おばあちゃん、近所の苦手な人とも触れ合って、コミュニケーション力をつけてあげてください。将来困難に会っても乗り越える力が自然と身についていきます。私もそのために子供たちを教会に連れてきて信仰に出会える場、世代間を超えて様々な人と出会える場を子供たちに提供したいと思っています。

横浜教区春期典礼研修会のお知らせ

日時：2月11日（火・祝）10:00～16:00

場所：カトリック藤沢教会

テーマ：「主のみことば」

講師 石井祥裕氏（上智大学神学部講師、「聖書と典礼」編集長、司教協議会典礼委員会委員）

宮越利光氏（上智大学神学部講師）「司教協議会典礼委員会秘書」

参加費：1人 500円（昼食、各自持参）

申込み締切：2月4日



日	曜	典 礼	ミ サ	備 考
1	土		主日ミサ(18時)	掃除
2	日	主の奉献(祝日)	主日ミサ(9時)	
7	金		初金ミサ(10時)	掃除
8	土		主日ミサ(18時)	
9	日	年間第5主日	主日ミサ(9時)	
11	火		*** 横浜教区春季典礼研修会(10:00-16:00; 於藤沢教会) ***	
15	土			掃除
16	日	年間第6主日	主日ミサ(9時)	
22	土			掃除
23	日	年間第3主日	主日ミサ(9時)	子どもとともに捧げるミサ

成人おめでとう！（1月12日）

中和田共同体の皆様、成人のお祝いをして下さりどうもありがとうございました。

つい最近までは毎週のように教会へ行き、御ミサのあとに教会の周りや裏の畑で走り回っていたと思っていたので、それからもう十何年もたったのかと考えるとその早さに自分が一番驚いています。今日無事に成人を迎える事ができたのは教会の方々や身内の方々の支えがあったからだと思います。本当にありがとうございました。

これからも日々自分の目標に向かって一歩ずつでも努力していこうと考えているのでよろしくお願いします。

石井拓真



合同祈禱会「みなが ひとつになるように」

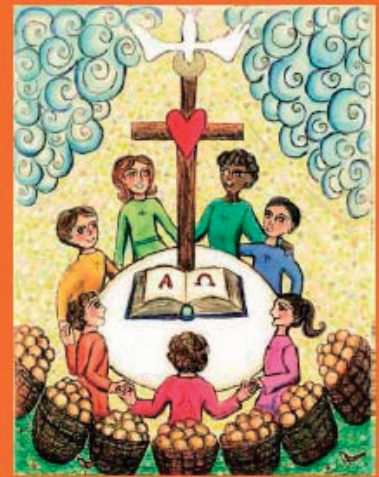
「エキュメニズム教令」50周年に当たる今年の日本聖公会横浜教区とカトリック横浜司教区の合同祈禱会が1月19日（日）カトリック藤沢教会にて午後4時より行われ、中和田教会からは小林神父様と女性3人が参加しました。

厳しい寒さの中、夕方からの礼拝ということもあってか参加者は満席ではありませんでしたが、平和の挨拶の時には両派司祭の方々がお声をかけあって固く握手されている姿が印象的でした。洗礼の約束の更新、灌水式後の共同祈願では地球規模で山積する諸問題を心を一つにして祈りました。

聖公会の宇津山武志司祭が説教の中で第2朗読のコリントの信徒への手紙 1：1～17を引用して『・・・皆、勝手なことを言わず、仲たがいせず、心を一つにし思いを一つにして、固く結び合いなさい。』に続く『キリストは幾つにも分かれてしまったのですか』と鋭く問いかけられました。しかし最後に「教派を超えて、いのちの泉、光の中の光であるイエス様を指し示していくことが大切ではないでしょうか」と今日のテーマを示唆しつつ結ばれました。

（広報）

2014年 キリスト教一致祈禱週間
1月18日～25日



キリストは幾つにも分かれてしまったのですか
—コリント1:17—

日本キリスト教協議会
カトリック中央協議会

信徒の会： 例会の報告

前回に引き続き、教会の運営に関する討議を行いました。

地区割りの話では、暫定的に一部の人に移動して頂くことで三地域化し、地番変更等が完了する頃様子を見て見直ししてはどうかという御意見が出されました。委員長の選出方法については、推薦の方法や、正副委員長で仕事を担務して負荷を軽減する方法など色々な御意見が出されました。屋根の補修が必要で多額の費用がかかる件については、必要性は認識するも、費用を削減する方法を検討して欲しい、聖堂の建て替えなど全体的な視野で検討して欲しいなどの御要望が出されました。地区による主日の典礼奉仕については、典礼グループとの作業の分担を明確化して欲しい、地区割り改善とのセットにして進めたいなどの御要望が出ました。バザーについてはミニバザー等やり方の変更、従来型を継続するにしても負担を軽くして欲しい、バザー委員会で具体的に決めて欲しい等様々な御意見が出ました。

これらの御意見、御要望は委員会に報告し、議論して頂きます。

次回は小山（利）さんのミニ講演会（第1回）が予定されていますので、御参加宜しくお願い致します。またバス旅行で都内の教会巡りを予定しています。人数が集まれば安くできそうですので、これも御参加宜しくお願い致します。

（岩淵 英介）



要理グループより



日頃から子どもたちに温かい目を向けて下さる皆様に、この場をお借りして心から感謝いたします。

さて要理学校は、上は小学6年、下は幼稚園まで幅広い年齢層の子どもたちの集まりです。とは言っても各学年1人から3人まで合計16名(4月からは13名)常に全員揃うわけではありません。10人足らずの子どもたちが、第3、第4日曜日のミサ後、おみどりの片隅(又はマリアシャトー)で、子どもミサの担当(先唱、朗読などを行う者)を決めたり、要理の勉強をしたり、侍者のやり方を習ったり:・:と、細々活動しているのが現状です。でも少人数なので一人一人の顔がよく見えるおかげか、要理学校が終わった後、みんなで「かくれんぼ」や「おにごっこ」で遊んだりする姿がよく見かけられ喜ばしい限りです。

また、普段の活動は座って話を聞くタイプですが、夏季学校とクリスマス会ではお楽しみの時間もたっぷりとして、少ない時間の中で学びと遊びのバランスはとれていると思います。昔は、大学生の若いリーダーのもと、大勢の子どもたちが集い活動も盛んだったとお聞きする度、うらやましいと感じるのが本音ではありますが、子どもの減少や若者リーダーの不在の中で、また運営している親たちが関われる範囲内の『できる事をする』というスタンスのもと、子どもたちのために、今年も要理学校はスタートしました。皆様には今後ともご理解、ご協力をよろしくお願いします。

(森脇彰子)

委員会だより

(文中敬称略)

△1月12日(日) 11名出席▽

■報告事項

1月スケジュール確認

■各グループからの報告

●典礼(大宮(智))

・2014年度典礼ごよみ

・初聖体ー11月23日に実施するとして要理親の会で語る(森脇彰)

・四旬節のゆるしの秘跡

・指導司祭:小林陽一神父3/16(日)ミサ後 講話+ゆるしの秘跡

3/23(日)主に要理の子供たちその他、3/30(日)4/5(日)ミサ前後15分ずつ小林神父様に告解部屋で待機して頂く。

・世界病者の日2/11(祝)(病者の塗油をするのがならわし)

・中和田教会では病者の塗油を敬老の日に行っているが、2/16(日)に実施する方向で呼びかけ希望者を募る。締切は2/2(日)とし、実施形態はその後検討

●財務(甲斐)

・2013年度決算

収入:・月定献金ノ約94%、全体ノ約94% 支出:・約94%

・2014年度予算

・予算額を前年度より削減(清掃の見直し等)

・建設会計ー神父様の異動に伴う費用は早めに見積もる

ー部屋改修などは直接日野神父様と相談しながらすることも必要ではないか(小林神父)

愛の献金会計ー減額

●宣教(井上)

・堅信式ー申込者(小中学生6人)

・1月19日(日)参加する子供たちと勉強会のスケジュールを決める。できれば月2回実施する。春休み

に勉強会とリクリエーションする日を一日設けたい

・中高生会ー受験シーズンが終わった頃に一度開く

・2014年湘南キリスト教セミナーは現在委員の勉強会を実施中

●要理(森脇(彰))

・2014年度も第3、第4週(子供ミサ)を活動日とし、去年に準じて活動する。

●建物を考える会・営繕(福島)

・2014年度活動予定

・3月2日(日)大掃除 5月4日(日)庭の手入れ 10月19日(日)庭の手入れ 11月30日(日)大掃除

・屋根の大規模修理(2015年度予定)は信徒の理解を得るために必要性を訴えていかなければならない(小林神父)

●福祉(中島)

・福祉が従来担当していた各団体への寄付は財務に一元化されたため福祉の銀行口座は解約し、愛のビン(現金)と共に財務に引き継いだ。

・ホームレスを支援するためのお米や野菜を購入するため寄付して頂くお金は、引き続き福祉が管理していく。

●総務、信徒の会(岩淵)

・地区割りの改正について

・典礼グループの提案を受け、まずは地区割りの見直しについて信徒の会で意見交換をした。その結果を踏まえ従来の地区割の意義を考慮し、人数や活動できる方の数のバランスを取れるよう再編成をすることを目標とし今後も検討していく。

・書類提出のお願い

・中和田教会建物使用申込書、住所変更届、緊急連絡先カードは総務に提出してください。

・納骨式、命日祭の折り申込み書は神父様に提出、コピーを総務に提出してください。

●広報(今井)

・原稿依頼(締切1月22日)

●行事(小野(和))

・昨年の行事委員の方が2年目もやって助けてくださったことに感謝している。

■討議報告事項(上野)

・神父様の送り出し、迎え入れの日程調整は2月中

・先方の委員の方とコンタクトを取り実際に面談して打ち合わせをすることが必要。

・送別会等 要検討

・次回委員会2月9日(日)

以上

